

長崎県内 市町・関連団体の職員 限定

地域をつくる 官民連携 × 共創 × 人材育成

長崎ローカル・カタリスト・サミット

NAGASAKI LOCAL CATALYST SUMMIT

～長崎の「魅力」を、「地域の力」に変える一日～

主催：一般社団法人日本経営協会（NOMA） ／ 協力：長崎県市町職員研修センター

2026.11.13 FRI 13:00-18:15 | 出島メッセ長崎 | 参加費 無料 | 定員 80 名

県内外トップランナーの実践知と、他市町の仲間との対話から「明日から動ける」ヒントを持ち帰る、長崎県内の市町職員のための一日プログラムです。聞くだけで終わらず、話し、持ち帰るところまでを一日に収めました。

開催概要

EVENT OVERVIEW

.....



日程

2026.11.13

FRIDAY



時間

13:00-18:15

受付 12:30 開始



開催場所

出島メッセ長崎

JR 長崎駅 徒歩 5 分



参加条件

参加費 無料

定員 80 名・事前申込制

こんな方へ

FOR YOU

.....

ひとつでも当てはまる方に、持ち帰るものがある一日です。

- ✔ まちの魅力を伝えたいが、何から手をつければいいのか決めきれていない
- ✔ 実施している施策の効果を、庁内でうまく説明できない
- ✔ 予算も人手も限られたなかで、成果の出し方を知りたい
- ✔ 他の市町の担当者が、実際どう動いているのかを聞いてみたい
- ✔ 民間と組みたい気持ちはあるが、きっかけと相手が見つからない

まずは、お申し込みください

参加を申し込む（無料） ▶

申込締切 2026 年 11 月 4 日（水） ※定員に達し次第締切

https://noma.citypromotionaward.com/module/web_page/469300/0



申込フォーム

登壇者

SPEAKERS

.....

第1部「持続可能なひと・まち・くらしを考える」／第2部「“愛着”が地域を超える、つながる」



モデレーター

元・長崎県平戸市職員／2014年ふるさと納税寄附金額日本一を達成

黒瀬 啓介氏

株式会社 LOCUS BRIDGE 代表取締役／株式会社 UI 代表取締役

2000年平戸市役所入庁。広報担当時代に長崎県広報コンクール広報紙の部で5年連続最優秀賞、ふるさと納税担当時代に2014年寄附金額日本一を達成。トラストバンク（ふるさとチョイス）への民間出向でふるさと納税エバンジェリストとして自治体・事業者を支援し、2019年に独立。本サミットでは全体モデレーターを担当。



第1部

河尻 和佳子氏

河尻和佳子事務所 代表

／元・流山市 マーケティング担当

基礎自治体初のマーケティング課で「母になるなら、流山市。」等を担当。人口増加率全国市中6年連続1位に貢献。地方公務員アワード2020受賞。



第1部

佐々木 翔氏

株式会社 INTERMEDIA. 代表取締役

／長崎大学 准教授

長崎県島原市生まれ。まちづくり×建築デザインの実践者として、空間からコミュニティを設計する。



第2部

林田 静氏

MilkShake 主宰

／LindaLinda 代表

「ToBe アイドルプロジェクト」主宰。2013年から地元アイドル文化を根付かせ、長崎を元気にする活動を継続。



第2部

小玉 悠太郎氏

坂井市 総合政策部 移住定住推進課

主査

ふるさと納税を立ち上げ以降継続して担当。シティプロモーションアワード2024金賞、地方公務員アワード2023受賞。

当日のプログラム

TIMETABLE

.....

12:30	開場・受付 RECEPTION	—
13:00	オープニング・趣旨説明 OPENING	日本経営協会 挨拶
13:10	第1部 基調パネルディスカッション KEYNOTE PANEL 1 持続可能なひと・まち・くらしを考える	河尻和佳子氏／佐々木翔氏 他 進行：黒瀬啓介氏
14:00	全体検討① GROUP DISCUSSION 1 持続可能な地域のコミュニティづくり、自治体組織運営	他市町の担当者と議論／進行：黒瀬啓介氏
14:40	振り返り・共有 SHARING	複数名より発表・担当者フィードバック
15:20	第2部 基調パネルディスカッション KEYNOTE PANEL 2 “愛着”が地域を超える、つながる	林田静氏／小玉悠太郎氏 他 進行：黒瀬啓介氏
16:10	全体検討② GROUP DISCUSSION 2 “愛着”が地域を超える、つながる	他市町の担当者と議論／進行：黒瀬啓介氏
16:40	振り返り・共有 SHARING	複数名より発表・担当者フィードバック
17:00	クロージング・開催御礼 CLOSING	日本経営協会 挨拶 ほか
17:15	自由交流・懇親会 NETWORKING	情報交換・懇談を予定（参加費無料）

参加することで得られるもの

BENEFITS

.....

01	02	03	04
実践者の視点を学ぶ 第一線で活躍する登壇者から、持続可能な地域の魅力をいかにつくり上げるかを学びます。	本音で語り合う全体検討 他市町の担当者と課題を持ち寄って議論。コミュニティづくり・組織運営と、“愛着”の伝え方の2本立てです。	官民連携・共創を体験する 本会が連携する企業の事例セッションを通じて、民間発の実践手法を学び、官民の垣根を越えて意見交換します。	知見と人脈が広がる 県内の同じ課題を持つ仲間とつながります。庁内で共有できる当日資料もお渡しします。



【任意のお願い】地域の魅力をお持ち寄りください

自由交流・懇親会では、各市町からお持ち寄りいただいた地域の魅力を相互にご紹介いただく時間を設けます。会場への飲食物の持ち込みが可能です（常温保管・個包装のものに限らせていただきます）。数量の目安は10～20名分程度、市町単位でご調整ください。当日は受付でお預かりし、会場に配置します。ご持参がなくてもご参加いただけます。

お申し込み方法

HOW TO JOIN

.....

- STEP 1** 下記フォームからお申し込みください（所要2～3分）。
お一人ずつのご登録をお願いします。
- STEP 2** 自動送信される「申込完了メール」を印刷、またはスマートフォンに保存してください。
- STEP 3** 当日、受付で申込完了メールをご提示ください。事前に郵送物等をお送りすることはございません。

申込締切 2026年11月4日（水） ※定員に達し次第 締切

特設ページ https://noma.citypromotionaward.com/module/web_page/469300/0



申込フォーム



特設ページ

お問い合わせ CONTACT

一般社団法人日本経営協会（NOMA）公務協力事業／地域活性化支援事業 担当：関根・柴田

TEL：080-8867-8174（柴田） ／ E-mail：r-shibata@noma.or.jp | tsekine@noma.or.jp

※ 庁内の出張伺い・復命報告にお使いいただける SAMPLE データ（PDF）をご用意しています。是非ご活用ください。

出張申請書（兼 研修受講申請書）

提出日	令和8年10月20日	宛先	〇〇課長 殿
所属・職名	地域振興部 政策企画課室 専門員	氏名	長崎 太郎

下記のとおり、民間団体主催の研修サミットへの参加に伴う庁外公務（出張）を申請いたします。

1. 出張概要

用務件名	長崎ローカル・カタリスト・サミット参加に伴う出張
日時・時間	令和8年11月13日（金） 13:00 ～ 18:15（受付開始 12:30） ※出張移動時間帯：〇〇時 ～ 〇〇時
用務先・会場	出島メッセ長崎（長崎県長崎市尾上町4-1） ※JR長崎駅 徒歩5分
主催・協力	主催：一般社団法人日本経営協会（NOMA） / 協力：長崎県市町職員研修センター

2. 参加目的・公務との関連性

【目的】官民連携・地域共創およびシティプロモーション手法の習得

当市が推進する地域課題解決およびシティプロモーション事業において、民間企業や他市町との連携体制作りが急務となっている。本サミットに参加し、先進自治体のマーケティング事例や地域への愛着形成プロセスを学ぶことで、次年度施策の企画立案に直接活用する。

【具体的受講内容と業務上のメリット】

- 第1部（持続可能なコミュニティづくり）：元・流山市マーケティング担当者等の実践知から、限られた予算・人手で成果を出す広報・共創手法を学ぶ。
- 第2部（愛着・シティプロモーション）：坂井市等のふるさと納税・シティプロモーション事例から、関係人口創出と官民連携の組み方を把握する。
- 全体検討・ワークショップ：県内他市町の担当者との課題議論を通じて、広域的な連携ネットワークを構築する。

3. 経費・旅費区分

受講費・参加費	無料（定員80名・事前申込制）
交通費概算	支給要（公共交通機関利用：〇〇駅 ⇄ 長崎駅 往復 約〇,〇〇〇円）

4. 添付書類

- 「長崎ローカル・カタリスト・サミット」開催案内チラシ・プログラム（写し）

復命書（研修参加報告書）

復命日	令和8年11月16日	宛先	〇〇課長 殿
所属・職名	地域振興部 政策企画課室 専門員	氏名	長崎 太郎

令和8年11月13日に実施した公務出張について、下記のとおり復命いたします。

1. 出張概要

用務件名	長崎ローカル・カタリスト・サミット 参加
日時・場所	令和8年11月13日（金） 13:00 ～ 18:15 / 出島メッセ長崎
登壇者	河尻和佳子氏（元・流山市）、佐々木翔氏（INTERMEDIA.）、 林田静氏（MilkShake）、小玉悠太郎氏（坂井市）、黒瀬啓介氏（LOCUS BRIDGE）

2. 研修概要・要旨

第1部：持続可能なひと・まち・くらしを考える（基調対談&グループ討論）

「母になるなら、流山市。」で知られる流山市のマーケティング事例から、ターゲットを絞り込んだ施策展開と庁内説明ロジックを学んだ。グループ討論では、県内他市町と「市民参加型コミュニティの維持」について課題を共有した。

第2部：“愛着”が地域を超える、つながる（基調対談&グループ討論）

坂井市や民間団体の事例から、地域のファン（関係人口）を増やす「共感型広報」の手法を検討。単なる特産品PRにとどまらず、地域の担い手と繋がるストーリー発信の重要性が指摘された。

3. 所感および当市業務への活用・提言（核心部分）

① 庁内施策への還元案（シティプロモーションの再定義）

当市の広報施策は「広く浅い情報発信」に偏りがちであったが、流山市の事例にならい「ターゲット層（子育て世帯等）への明確なベネフィット提示」に転換すべきである。次年度の広報戦略策定において、効果測定指標（KPI）の再設計を提案したい。

② 官民連携・共創ネットワークの活用

サミット内での自由交流および他市町担当者との対話を通じ、民間事業者・大学との協働窓口の一本化や、課題を持ち寄る「官民対話プラットフォーム」の必要性を痛感した。

③ 今後のアクション方針

持ち帰った講義資料・事例集を課内で共有する勉強会を月内に開催する。また、今回つながりを得た他市町担当者・専門家と連絡を維持し、当市の〇〇事業における外部アドバイザー招聘を検討する。

4. 添付資料

- サミット当日配布資料一式